

令和8年度

授業改善推進プラン

東大和市立第四中学校

2

学年

3観点に即した改善プラン

①知識及び技能 ②思考力・判断力・表現力等

③学びに向かう力・人間性等

	最も課題のある観点	「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業における具体的な手立て	年度末評価（2月）
国語	① 知識及び技能	語彙や文法を活用する創作活動や、表現技法を読み取る対話的なワークショップを取り入れる。生徒が自ら問いを立て、仲間と意見を交わすことで、知識を活用する力を育成する。	対話的なワークショップを取り入れ、知識を活用する場面を効果的に設定できた。
数学	② 思考力・判断力・表現力等	iPad やロイロノートを活用することにより、考え方や解き方を共有し、グループワークで深めるようにする。また問題演習を通して、習得した考え方を利用し、その考え方を深めていくようにする。	一人一台端末を活用して、個別最適な学びを進められるように工夫した。
英語	② 思考力・判断力・表現力等	iPad を活用し、視覚的に考え方を比較参照し、よい点や改善点を、4 人組での話し合い活動を通して共有していく。また、演習を通して、獲得した考え方を使うことで、さらにその考え方を深めていくようにする。	4 人組での話し合い活動を通して、対話的で深い学びにつなげていくことができた。
社会	② 思考力・判断力・表現力等	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などを適切に設定し、実際のコミュニケーションを意識した言語活動を通して、自分の考えを整理し、相手や目的に応じて表現する力を育成する。	活動を適切に設定し、考えを整理し表現する力を育成することができた。
理科	② 思考力・判断力・表現力等	実験・観察等を通して、得られた結果から考えられることをまとめ、自分の言葉で事象を説明することを繰り返し行っていく。また、班での活動を通して考えを共有し、一人一人の考える力の向上を図っていく。	実験・観察等を通して、自分の言葉で事象を説明する力が向上した。
音楽	③ 学びに向かう力・人間性等	音楽の基礎知識の理解度に大きな差がみられるので、補助資料を活用し個々で学習を進めていけるように導く。また、ICT 機器を用いて仲間と情報共有しながら、語彙力と表現力を高める。	協働的な学習を通して、語彙力や表現力を高めていくことができた。
美術	② 思考力・判断力・表現力等	発想力について、個別の指導を重点的に行いながら、自己と向き合い粘り強く取り組む力を持って作品に生かせるように促していく。	個別最適な学びを重点的に行い、よりよい作品作りを行うことができた。
保健 体育	② 思考力・判断力・表現力等	ペアワークやグループワークを通じて、仲間に自己表現する場を設けたり、多様な仲間と関わる機会を意図的に設けたりすることで、自己の課題把握や練習の工夫の仕方に気づき、自己表現力を育成していく。	学習方法を工夫することで、自分の考えを発信し、表現力を高めていくことができた。
技術 家庭	② 思考力・判断力・表現力等	実習では、自分で考えて作業を選択したり、改善点や修正点を考えて改良する活動を通して、思考力を育成する。布を用いた小物の制作では、ICT 機器を活用し、デザイン検討や制作の記録・共有を行い比較・判断しながら創造的に表現する力を育成する。	ICT 機器を活用して、実習や製作場面で創造的に表現する力を育成する授業づくりができた。